

問い合わせ先

第八管区海上保安本部 海洋情報部

監理課長 江上 亮

Tel:0773-75-7373(直通)

Tel:0773-76-4100(内線2510)



平成24年8月30日

第八管区海上保安本部

「昭和の海図展」

～第二次世界大戦時の海図を一挙公開！～

海図は、船が海を安全に航海するために必要不可欠なものです。

日本における海図の作成は、明治4年（1871年）9月12日、当時の兵部省海軍部に海図づくりのための水路局が設置されたのが始まりです。現在では海上保安庁がその業務を引き継いでいます。

そして、この9月12日を「水路記念日」としています。

今年で141回目の「水路記念日」を迎えるにあたり、海軍ゆかりの舞鶴赤れんがパークにおいて、舞鶴観光協会との共催により「昭和の海図展」と題し、第二次世界大戦時の海図約50図を一挙公開します。

1 期間

平成24年9月20日（木）～23日（日）午前9時～午後5時まで

2 場所

舞鶴赤れんがパーク 赤れんが3号棟-まいづる智恵蔵-(別紙参照)

所在地：京都府舞鶴市字北吸1039番地12

3 展示物

(1) 海図の紹介（智恵蔵1階）

①伊能図から海図へ

- ・伊能図謄写図（舞鶴が記載された「近江若狭 越前加賀」）
- ・舞鶴の古い海図から新しい海図（W1167「舞鶴港」）まで
- ・海図の見方、灯台や浮標など記載内容と実際の写真との比較

②明治初期に海図作成に携わった舞鶴ゆかりの伊藤雋吉(いとうとしよし)について紹介

③海上保安庁の船舶、航空機の写真など、海上保安庁の紹介

④3D海底地形図

(2) 昭和の海図（智恵蔵2階）

刊行部数が4千版を超えて最も多かった戦時中の海図を中心に約50図を紹介

※ 使用する海図は、日本財団の助成金により一般財団法人日本水路協会が海上保安庁の保有する歴史的価値のある海図や関連する資料を画像データ化し、そのデータの提供を受けて印刷したものです。



開催場所



(赤れんがパークホームページ <http://www.akarenga-park.com/> から引用)

アクセス

バス：東舞鶴駅前から東西循環線(左回り)で5分、市役所前下車徒歩すぐ

車：舞鶴若狭自動車道・舞鶴東 IC から約10分
舞鶴若狭自動車道・舞鶴西 IC から約20分